

令和4年度 事業活動報告書・収支決算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日)

公益財団法人 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー

令和4年度事業活動報告

I 事業の概要

令和4年度は引き続き関係機関との連携を深めながら、公益目的事業の3本柱である「公1 観光地域づくり・戦略的プロモーション事業」「公2 コンベンションを中心としたMICE支援事業」「公3 公共施設管理運営事業」について事業計画を策定し事業推進に取り組んだ。

国において新型コロナウイルス感染拡大の防止と経済活動維持との両立を目指すことが示され、下半期には水際対策の緩和や全国旅行支援等の施策が展開された。さらに感染拡大は収束傾向となり、マスク着用の緩和のほか1月27日には感染法上の分類が5月8日に2類相当から5類に引き下げられることが決定し、さらなる観光需要の回復が期待される状況となった。

公1 観光地域づくり・戦略的プロモーション事業

○観光地域づくり推進事業・地域の魅力創造事業

8つの観光戦略に基づき、新型コロナウイルスの状況に留意しつつもアフターコロナを見据えて各事業を展開した。

今年度、特に力を入れたのは「効果的な情報発信機能の整備拡充」「広域周遊施策の推進」「滞在プログラム造成事業」である。

【効果的な情報発信機能の整備拡充】

当財団が管理運営するエリア最強の観光ウェブメディア「浜松・浜名湖だいすきネット」への来訪ユーザー数とページ閲覧数を最大化するため、ウェブサイト流入エンジンとしてInstagramを位置づけ、Instagramの効果的な運用方法を模索してきた。投稿内容に対するユーザーのレスポンスを分析し、PDCAを繰り返すことで、より効果的な情報発信の法則の発見と運用ノウハウの蓄積を進めている。

結果、Instagramアカウント「visit hamanako」のフォロワー数は令和4年度に約1万人増加し、現在1.6万人を超えた。他エリアの観光系Instagramアカウント（琵琶湖ビジット1.5万人、北九州ぐるりっち1.7万人、岡山ハレ旅1.4万人）と比較してもフォロワー数が見劣りしないレベルまで到達。今後はそのフォロワー数を活かした情報発信力をどう観光誘客につなげることができかが課題である。

【広域周遊施策の推進】

「大河ドラマ どうする家康」目的の地域外来訪者に向けた広域周遊策として以下3事業を実施

① デジタル周遊券「まるっとパス」の新規造成と販売

今年度新たに造成したデジタル周遊券「まるっとパス」の施設利用券およびチケッ

ト提示優待券の参加施設の募集と管理業務を実施。期間中約 3,000 枚のチケットが販売され、500 円の施設利用券は 1,800 枚利用された。来訪客の公共交通機関を使った地域内周遊促進に寄与することができた。

② 浜名湖花フェスタとの連携

大河ドラマ目的の来訪者に「浜名湖花フェスタ」「アメイジングガーデン浜名湖」を訴求して回遊していただくため、オンライン施策とオフライン施策を効果的に組み合わせた施策を実施。イベント訴求力の向上と新たな顧客層の開拓、参加施設の回遊性向上を図った。

オンライン施策としては「アメイジングガーデン浜名湖の施設を巡るデジタルチケットの造成」「花フェスタデジタルスタンプラリー」。オフライン施策は「浜名湖花フェスタ関連の訴求物の統合」、「花の集印帳企画」を実施。

昨年まで実券のみで販売していた周遊券をデジタルチケットプラットフォームのアソビューを活用してデジタルでも販売開始。

③ ご宿場印・ご宿場印帳

販売チャネルとして浜松城売店およびザザシティ中央館 1F との調整と販売スキームを構築。1 月末の販売開始以降、増刷も実施するなど順調な滑り出しを見せている。

【滞在プログラム造成事業】

今年度は「家康ゆかりの地」「テクニカルビジット」「浜名湖サイクルツーリズム」「ガーデンツーリズム」をテーマした滞在プログラムの造成を中心に活動。

① 「家康ゆかりの地 浜松」

大河ドラマをきっかけにした来訪観光客に地域を周遊していただく仕掛けとして当財団企画商品としてまち歩きツアーとバスツアー（2 行程）を企画し、4 月より実施。また、浜松まちなかにぎわい協議会と浜松商工会議所とまち歩きツアー「まち歩き博覧会」を共同実施。当財団は浜松・浜名湖だいきネット内、ちょい旅ガイドへの掲載を通じた広報協力を行った。

② 「テクニカルビジット※」 ※先進技術を学びに行く視察旅行

学校向けの教育旅行コンテンツ拡充を目的とし、今年度はアプローチ先の選定から市内各企業へのヒアリングなどを実施した。

③ 「浜名湖サイクルツーリズム」

浜名湖サイクルツーリズム推進会議の定期開催を通じて、3 月に開催した「ハマイチ 2023」の参加者増加を目的とした募集 PR 活動を実施。浜名湖 1 周サイクルイベント「ハマイチ」のプロモーションを通じて当地区のサイクルツーリズムの醸成を推進した。

④ 「ガーデンツーリズム」

7 つの庭園で構成される「アメイジングガーデン浜名湖」のデジタルチケットの造成と販売を新たに開始。定番企画の花のご集印帳やデジタルスタンプラリーも同時開催し、花や庭園ファンの地域内周遊促進を狙う。

○国内セールスプロモーション事業

大河ドラマをきっかけにした誘客活動としては、BtoB（企業向け）を中心に、官民連携組織の家康プロジェクト推進協議会と連携して商談会への参加や主要代理店へのセールス、旅行代理店向けのファムトリップ、OTAを通じた宿泊割引キャンペーンなどの誘客活動を実施した。

また、来年の花博20周年記念事業も視野に入れ、浜名湖花フェスタ関連の誘客活動にも注力した。

○海外インバウンド事業

海外向け多言語観光情報サイトの管理運営を行いつつ、台北、台中、オーストラリアの現地商談会に参加し、現地セールス活動を実施。浜松市のインバウンド向けの宿泊支援制度をPRするため、主要都市のランドオペレーター、エージェントへのダイレクトセールスも積極的に行った。

また、三遠南信・伊勢志摩広域観光交流連携協議会や東海地区外国人観光客誘致促進協議会などの外部団体とも積極的に連携。物産展や商談会への共同参加などによる営業活動も実施した。

公2 コンベンションを中心としたMICE支援事業

今年度においても、新型コロナウイルス感染症拡大の波による開催中止・延期があったものの、徐々に回復傾向がみられ、政府の規制緩和と共に現地開催の機運が高まった結果、**昨年度は2割程度の現地開催比率だった状況が8割程度まで回復。**

また、この傾向に乗じて急速に多様化する主催者ニーズに対応するため、**新たな助成金制度を開発。**助成の上限を従来の200万円から1,000万円に拡大し、他都市競争力を高めた。

さらに、主催者に対するMICE開催支援内容の充実と、誘致活動促進を図る為に、システムを新たに導入し、次年度に向けた事業推進基盤を整備した。

公3 公共施設管理運営事業

大河ドラマをきっかけとした来訪者増加を見越し、玄関口であるJR浜松駅における案内強化を行った。

- ① 来訪者が入りやすく見学して楽しめるように改修工事を実施
- ② スタッフの2名補強
- ③ センター内での大河ドラマ館チケット販売業務を開始

1月の大河ドラマ館オープン以降は日本人だけでなく海外からのお客様も増えてきている。

Ⅱ 公益目的事業活動報告

公1 観光地域づくり・戦略的プロモーション事業

浜松市、湖西市及び周辺地域の産業、文化、歴史などの資源を活用し、行政、観光施設、民間団体・企業等との連携を図り、地域のブランド確立を目指して、調査、分析に基づく戦略策定と、戦略に基づく効果的・効率的な情報発信を推進するとともに、観光客の誘致及び受入により交流人口の拡大を図り、観光まちづくりの推進と地域社会の健全な発展を目的とする。

1 観光地域づくり戦略策定・管理事業

8つの観光戦略に基づく事業の実施、管理

- ① 効果的な情報発信の整備
 - ・公式HP「浜松・浜名湖だいすきネット」および「ワンダフル浜名湖わんこ旅」の定期的な記事更新
 - ・地元女性情報発信チーム海の湖HAMANA ジェンヌの活用
 - ・HAMANA ジェンヌ公式YouTubeチャンネルによる地域情報の動画発信
 - ・公式Facebook、Instagram、Twitterによる情報発信
- ② 顧客の囲い込み策の構築
今年度実績なし
- ③ 観光商品の開発と誘客促進
 - ・テクニカルビジットの推進
 - ・着地型旅行商品販売サイト「ちよい旅」への掲載商品の拡充
 - ・郵便局物販カタログの販売
 - ・静岡県サスティナブルモデルツアー造成事業への取組み
 - ・ガストロノミーツーリズム天竜春野圃場めぐりツアーの開催
 - ・アメイジングガーデン浜名湖デジタルチケットの造成と販売
- ④ サービスの品質向上
 - ・宿泊施設向け品質認証プログラム「サクラクオリティ」の周知
- ⑤ 広域周遊施策の推進
 - ・デジタル周遊券「まるっとパス」の造成と販売
 - ・浜名湖花フェスタのデジタルスタンプラリー
 - ・アメイジングガーデン浜名湖と連携した花の集印帳事業
 - ・アメイジングガーデン浜名湖とNEXCO中日本とのドライブプラン
 - ・御宿場印・御宿場印帳の販売
- ⑥ インバウンド受入環境整備
 - ・SNS（Facebook）の多言語（英語、タイ語）運営
 - ・HPの多言語（英語、タイ語、簡体字、繁体字、韓国語、フランス語、ベト

ナム語、ポルトガル語) 運営

⑦ 観光インフラの整備促進

- ・浜名湖サイクルツーリズム推進会議の開催
- ・浜名湖サイクルツーリング/ハマイチ 2023 の開催

⑧ 地域との協働

- ・Yes 家康プロジェクト キッズアカデミー支援
- ・景観整備事業としての都田川清掃活動 (連携団体: 小さな親切運動、海の日本プロジェクト in 浜名湖、グランドエキシブ浜名湖)

○KPI の設定

①地域 KPI

延べ宿泊数、来訪者満足度、旅行消費額 (日帰り、宿泊)、リピーター率
外国人宿泊者数、誘致会議における経済波及効果

②重要組織 KPI

ブランドコンセプトに関する来訪意向
域外の来訪者から得られる収益額

③組織 KPI

海の湖ブランド認知度、公式 HP ユニークユーザー数・PV 数
SNS フォロワー数 (Facebook・Instagram)

2 観光地域づくり推進事業

(1) 浜名湖観光圏整備推進事業の運営管理

① 観光地域づくりマネージャー会議の開催

② 全国観光圏推進協議会へのオンライン参加

全国 13 観光圏の担当者が会しての活動状況報告、観光庁他国の関係機関などによる観光施策に関する最新動向の提供、全国観光圏共同で実施する事業の調整などを行っている。

- ・観光圏推進協議会 (会議) への出席

開催: 6 回 (5/24、7/12、9/27、11/29、1/16、3/14)

- ・人材育成研修、観光地域づくりマネージャーレベルアップ研修への参加 (2 名)

③ 浜名湖観光圏来訪者満足度調査の実施

全国 13 観光圏で統一して行われる調査事業であり、夏季および冬季に実施している。

- ・9/2 (竜ヶ岩洞)、9/9 (浜松城)、9/16 (うなぎファクトリー、nicoe)、9/21 (エアパーク)、9/22 (長坂養蜂場)
- ・12/11 (nicoe、浜松城、エアパーク)、12/18 (うなぎパイファクトリー)

(2) 観光地域づくりプラットフォームの確立

- ① 各観光協会、観光事業者等との事業等のマッチング、すり合わせの実施
 - ・浜名湖花フェスタ 2023 実行委員会への参画
 - ・浜松・三ヶ日みかんの里推進協議会との連携
サイクル部会（三ヶ日サイクルルート検討会）への参加：9/2、9/21、10/14
運営会議への参加：6/30、11/29、3/23
 - ・浜名湖花博 20 周年舟運部会準備会への参加：2/24
 - ・浜名湖地域舟運都市構想研究会への参加：7/8、10/28、2/15
- ② 民間事業者との連携事業の検討
 - ・郵便局物販サービスとの浜松・浜名湖カタログの販売
販売実績：販売商品個数 5506、販売総額 17,009 千円
 - ・花フェスタデジタルスタンプラリー企画の実施
 - ・アメイジングガーデン浜名湖と NEXCO 中日本ドライブプランの連携
 - ・Yes 家康プロジェクト キッズアカデミーの支援
プロジェクトへの参加：10/16、11/6、12/4、1/29

3 地域の魅力創造事業

(1) 滞在プログラム造成事業

- ① 「海の湖」ブランド体感プログラム開発事業
 - ・市内企業と連携したテクニカルビジットの推進
- ② 浜名湖サイクルツーリズム推進事業

サイクリストの受入態勢や商品の企画造成、広域連携によるサイクリングの魅力増幅・発信を行っている。

 - ・浜名湖サイクルツーリズム推進会議の開催：6/20
 - ・第 20 回目となるイベント「浜名湖サイクルツーリング/ハマイチ 2023」の開催（2023 年 3/18, 3/19）
実績 エントリー：1,215 名（前年比+47%）
出走参加：806 名（前年比+12%）…3/18 雨天による不参加 386 名
第 1 回実行委員会の開催：4/28 第 19 回大会の反省
第 2 回実行委員会の開催：7/8 第 20 回大会の開催に向けて
第 3 回実行委員会の開催：11/16 第 20 回大会の開催準備
第 4 回実行委員会の開催：3/7 第 20 回大会の最終準備確認
 - ・浜名湖サイクルツーリズムの PR：9/28 発行「旅行読売 11 月号（旅行読売出版社）」へ浜名湖サイクリングおよび天竜地区サイクリングを掲載
 - ・滋賀県県議会議員団の浜名湖サイクルツーリズム視察受入：11/1
- ③ 浜名湖舟運と SA ゲートウェイ開発推進事業
 - ・浜名湖 SA 舟運のチラシ掲出に係る中日本エクスとの打合せ

- ・浜松 SA への配架
- ・浜名湖花博 20 周年事業に向けた舟運輸送の可能性検討

④ ガーデンツーリズム推進事業

7つの庭園で構成される国土交通省認定のガーデンツーリズム「アメイジングガーデン浜名湖」の取組として、推進会議の開催や共通入場券の販売

- ・浜名湖ガーデンツーリズム推進会議：5/25、11/14
- ・NEXCO 中日本と連携した共通入場券付きドライブプランの販売
- ・アメイジングガーデン浜名湖デジタルチケットを造成し販売開始
構成庭園 7 施設のうち可睡ゆりの園を除く有料 4 施設に入場可能。
アソビューサイトで事前購入して窓口でスマホ画面を提示して入場。
料金 1,980 円、有効期間 3/1～6/30
- ・浜名湖花フェスタ 2023 実行委員会：9/8、2/20

また、今年度で 9 回目となる浜名湖花フェスタについて、回遊性向上について検討し、来訪者の拡大を図るため公式 HP や花の集印帳の販売を実施。

浜名湖花めぐり集印帳 2022 販売分 335 冊（参考：前回 326 冊、前々回 268 冊）

⑤ ガストロノミーツーリズム推進事業

- ・天竜春野町圃場視察研修ツアーの実施：11/22
(JA 遠州中央天竜営農センターとの連携)
浜松フード学会飲食店料理人・スタッフ等 11 名が参加
- ・静岡県サステナブルモデルモニターツアーの催行（静岡県補助事業）：1/24
浜名湖体験学習施設ウォット、うなぎの天保、(株)海老仙を観光コンテンツにしたモニターツアー。メディア、旅行事業者等 11 名が参加
- ・行政（静岡県、浜松市）主催の研究会・講演会への参加：2/14、2/22

⑥ 「浜松・浜名湖ちょい旅ガイド」の企画、催行

観光地域づくりブランド戦略に基づく新たな滞在型プログラムの開発など、現地発着小旅行サイトである「浜松・浜名湖ちょい旅ガイド」の充実・強化

【令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日までの実績】

滞在プログラム数延べ	75 件（昨年 71 件）
参加施設	58 施設（昨年 55 施設）
送客実績	667 名（昨年 132 名）

⑦ 御宿場印・御宿場印帳の販売

静岡県信用金庫協会との連携により、県内 22 宿場において販売。濱松宿は浜松城天守閣と浜松餃子スタジアムの 2 か所で販売。

1/21～販売開始。販売価格：御宿場印 300 円/枚、御宿場印帳 3,000 円/冊

(2) 浜松まつり組織委員会及び同委員会広報宣伝部の管理運営（事務局）

① 浜松まつり組織委員会

- ・浜松まつり組織委員会総務部会
日 時 6 月 7 日（火）14 時～

会 場 こども館分室 ここいーら小会議室 2
議 題 令和 4 年度浜松まつり事業の反省について
総務部員の改選について

日 時 7 月 29 日 (金) 10 時 30 分～
会 場 こども館分室 ここいーらギャラリー3
議 題 総務部員の委嘱
役員の選出について
今後のスケジュールについて
令和 5 年度浜松まつり参加申込・誓約書について

日 時 12 月 8 日 (木) 14 時～
会 場 こども館分室 ここいーらギャラリー3
議 題 令和 5 年度浜松まつり参加希望町について
令和 5 年度浜松まつりワッペンについて
令和 5 年度凧落下対策負担金について
令和 5 年度凧搬入用車両駐車場について

日 時 2 月 9 日 (木) 10 時～
会 場 可美公園総合センター 第 2 研修室
議 題 令和 5 年度浜松まつり高校生参加について

日 時 3 月 20 日 (月) 14 時～
会 場 浜松市福祉交流センター特別会議室
議 題 令和 4 年度浜松まつり組織委員会収支決算見込みについて
令和 5 年度浜松まつり事業計画 (案) について
令和 5 年度浜松まつり組織委員会収支予算 (案) について

・浜松まつり組織委員会役員会

日 時 4 月 7 日 (木) 14 時～
会 場 浜松市役所本館 5 階 庁議室
議 題 令和 3 年度浜松まつり収支決算及び監査結果報告について
令和 4 年度浜松まつり事業計画 (案) について
令和 4 年度浜松まつり収支予算 (案) について

日 時 8 月 22 日 (月) 11 時～
会 場 浜松市役所本館 5 階 庁議室
議 題 代表委員長の選出について
監事の選出について
総務部員の承認について

統監部員の追加承認について

令和5年度浜松まつり参加申込・誓約書について

日 時 12月14日(水) 13時30分～

会 場 浜松市役所本館5階 庁議室

議 題 令和5年度浜松まつり参加希望町について
令和5年度浜松まつりの日程について
令和5年度浜松まつり交通規制について
令和5年度ポスターデザインについて

日 時 1月24日(火) 13時～

会 場 浜松市役所本館5階 庁議室

議 題 令和5年度浜松まつりについて

日 時 3月24日(金) 15時30分～

会 場 浜松市役所本館5階 庁議室

議 題 令和5年度浜松まつりについて

② 浜松まつり組織委員会広報宣伝部

日 時 11月25日(金) 15時～

会 場 こども館分室 ここいーらギャラリー3

議 題 令和4年浜松まつり(R4.5.3～5)実施に係る浜松まつり組織委員会広報宣伝部事業報告について
令和5年浜松まつり(R5.5.3～5)実施に係る浜松まつり組織委員会広報宣伝部事業計画(案)について

(3) 地域特産品販路開拓支援事業(事務局)

浜松・浜名湖地域が全国に誇る特産品や観光振興につながる商品をまとめたカタログギフトの作成、販売等を行うことで、観光誘客につなげる。

① 浜松・浜名湖物産振興協議会の運営

- ・浜松市及び特産品事業者からなる「浜松市物産振興協議会」の事務局として、カタログギフトの作成及び連絡調整等の事業を行う。
- ・カタログギフト事業の具体的な業務としては、カタログ掲載事業者との契約／商品の受注連絡／発送確認／代金支払い／販売委託先との契約／納品／販売数管理／カタログ、注文ハガキ等の作成／PRチラシ、ポスターの作成／HPの作成など
- ・浜松市と協力し昨年度開始したオンラインアンテナショップ事業に加え、今年

度から大河ドラマ館の敷地内に「出世の街 家康 SHOP」を展開している。

【カタログギフト事業】

商品掲載事業者 : 45 事業所
掲載商品数 : 70 アイテム
販売金額 : 5,500 円 (税込)
販売期間 : 令和 4 年 5 月～令和 5 年 1 月末日まで
販売窓口 : ビューロー事務所、株式会社共栄商会、株式会社海老仙、株式会社谷島屋 (浜松本店)、新居町商工会、湖西市商工会、浜松市公式オンラインショップ「はままつ出世マーケット」
※特設サイトから申込用紙をダウンロードして購入することも可。(チラシ、ポスターの二次元コードからもアクセス可)
販売手数料 : 物産振興協議会 1 割、販売委託先 1 割
販売実績 : 1,826 冊

【浜松市公式オンラインショップ「はままつ出世マーケット」】

開設日 : 令和 3 年 10 月 12 日
取扱商品 : 657 アイテム (3 月末現在)
運営事業者 : 株式会社ヤタロー

【Web 物産展「はままつ出世市場」】

第 1 回 令和 4 年 6 月 2 日～7 月 22 日
第 2 回 令和 4 年 9 月 2 日～10 月 21 日
第 3 回 令和 4 年 11 月 15 日～12 月 26 日
第 4 回 令和 5 年 2 月 1 日～3 月 14 日

【どうする家康 浜松 大河ドラマ館 物産エリア「出世の街 家康 SHOP」】

テスト営業 令和 5 年 1 月 8 日
営業開始 令和 5 年 1 月 22 日 (3 月 13～15 日リニューアルのため休業)
営業時間 10:00～18:00 (大河ドラマ館の営業時間に準ずる)
取扱商品 612 アイテム (3 月末現在)
運営事業者 株式会社ヤタロー

4 観光プロモーション事業

(1) 観光案内ウェブサイト管理運営

浜松・浜名湖地域の観光情報サイト「浜松・浜名湖だいきネット」の管理運営

・2022 年 4 月から 2023 年 3 月までの実績

訪問数 884,537 (前年比 134%)

- ページビュー数 2,040,269 (前年比 132%)
- ・ 定期的な記事更新 編集部 Pick Up! 21 本
わんこ旅記事 9 本
 - ・ Youtube ジェンヌちゃんねるにて浜松・浜名湖の魅力情報を配信 36 本
チャンネル登録者数 1,577 人 (前年同月比 125%)
 - ・ Instagram での情報発信 77 投稿 フォロワー数 15,936 人 (前年同月比 299%)

(2) 国内セールスプロモーション事業

- ① 浜名湖観光圏整備推進事業
報告事項なし
- ② 東京、大阪、名古屋等でのプロモーション
4/20、21 浜名湖花フェスタメディアプロモーション (東京・神奈川)
3/24～26 浜名湖花フェスタメディアプロモーション (東京・神奈川)
- ③ 静岡県大型観光キャンペーン推進協議会事業推進部会西部地域会議 (旧：デスティネーションキャンペーン推進部会西部地域会議) の運営
6/18～19 トラベルランド (名古屋) 出展
9/22～25 ツーリズム EXPO ジャパン 2022 への出展・商談会参加
12/6～7 2022 よい仕事おこしフェア出展
- ④ 各種媒体への広告掲載
4/20 FM 立川 ジェンヌによる浜松・浜名湖の紹介 (15 分)
4/20 第一テレビ まるごと/初夏の浜名湖でバズる写真撮影対決
4/22 旅行新聞WEB版 花フェスタメディアプロモーション
4/22 読売新聞・神奈川版 花フェスタメディアプロモーション
4/25 スポーツニッポン新聞社 花フェスタメディアプロモーション
4/25 朝日新聞・神奈川版 花フェスタメディアプロモーション
5/4 神奈川新聞 花フェスタメディアプロモーション
5/30 旅行読売7月号たきや漁紹介
7/31 テレビマンユニオン 角立漁、注染染め
8/28 テレビ静岡ほかBS フジ 浜名湖の伝統漁「たきや漁」の紹介
9/9 テレビ朝日 アナ RUN+ ジェンヌが舞阪町を PR
12/27 テレビ朝日 とびっきり! しずおか
3/18 テレビ大阪 The フィッシング
3/19 テレビ朝日 広報丸投げツアー
3/20 FM EGAO 浜名湖花フェスタ PR
3/25 神奈川新聞 花フェスタメディアプロモーション
3/25 読売新聞・神奈川版 花フェスタメディアプロモーション
3/25 毎日新聞・神奈川版 花フェスタメディアプロモーション

(2) 海外インバウンド事業

① インバウンド推進事業

- ・タイ向け Facebook 発信事業
- ・海外向け多言語観光情報サイトの管理運営
- ・ビジットハママツ推進事業ランドオペレーターFAM トリップ
令和4年7月29日 クラウンパレスにて商談会 5社
- ・2022 台北国際旅行博（ITF）商談会参加・出展 令和4年11月3日～7日
- ・オーストラリアメディア FAM トリップ 令和4年12月3日～5日
- ・日本の観光・物産博 2022（台中）商談会参加・出展及び日月潭観光協会訪問
令和4年12月9日～13日
- ・JAPAN ROADSHOW2023（シドニー、メルボルン）商談会参加
令和5年2月5日～10日

② 県内連携事業

- ・ランドオペレーター商談会及びセールス
令和4年4月25日（月）関西地区ランドオペレーターセールス 3社
令和4年9月13日（火）ザ・プリンスさくらタワー 5社

③ 広域連携事業

- ・三遠南信・伊勢志摩広域観光交流連携協議会
世話人会・幹事会（令和4年6月21日（火））
海老名サービスエリア観光物産PR 令和4年4月8日～9日
東京商談会（豊川稲荷東京別院） 令和4年9月8日（木）16社
- ・東海地区外国人観光客誘致促進協議会
WGへの参加 令和4年4月28日（木）ウィンクあいち
総会 令和4年4月6日（月）ウィンクあいち
- ・中央日本総合観光機構
第5回ビジネスマッチング商談会（名古屋） 令和4年10月6日（木）
- ・名古屋観光コンベンション協会
ベトナム商談会及びセールススクール事業（ホーチミン）
令和5年2月28日～3月5日

公2 コンベンションを中心とした MICE 支援事業

コンベンションを中心とした MICE の誘致及び主催者への支援を実施することで、本地域への交流人口の拡大を図り、地域社会の健全な発展に寄与することを目的とする。

1 コンベンション MICE 誘致事業

(1) 首都圏・名古屋・静岡等への誘致活動

コンベンション誘致活動は、学会地方開催地への次回開催誘致営業、都内開催の展示会場への営業、各地域への訪問営業を実施。

営業出張（上期 14 日、下期 17 日）

(2) 市内及び周辺地域の大学、団体等への定期的な訪問活動

静岡大学、浜松医科大学、アクトシティ浜松を中心に、開催に向けた支援の相談及び、誘致の為の情報収集をメール・電話・訪問・来店対応を定期的実施。

(3) コンベンション運営会社との連携

PCO(コンベンション企画・運営会社)及び旅行会社との開催支援打合せの実施。

・PCO：誘致活動、会場提案・調整、開催支援

・旅行会社：運営相談、事業者紹介、開催支援、その他連携

(4) 浜松地域コンベンション誘致対策協議会の運営

今年度実施なし（組織体制変更・運営方針見直しの為）

(5) JNTO、JCCB、関係団体が開催する商談会、展示会等への参加

①国際 MICE エキスポ(IME)やその他 MICE 商談会への参加

・JNTO 国際会議・インセンティブ旅行商談会(インド・シンガポール)

開催日：11 月 15 日－16 日

開催形態：オンライン

商談数：10 件

・第 32 回国際 MICE EXPO エキスポ（IME2023）

開催日：2 月 16 日

開催地：東京国際フォーラム(ホール E2)

商談数：19 件

②学術会議・BtoB 展示会等への出展参加

・Japan Sports Week 2022（スポーツツーリズム EXPO）

開催日：5 月 11 日－13 日

開催地：東京ビックサイト

案内数：約 100 件

- ・ MICE EXPO in KANSAI 2022
開催日：12月7日-8日
開催地：インテックス大阪2号館
案内数：約50件 オンライン海外商談：7件 会場商談：3件
- ・ 第83回応用物理学会秋季学術講演会 JSAP EXPO Autumn2022
開催日：9月20日-23日
開催地：東北大学川内北キャンパス ハイブリッド開催
案内数：約200件
- ・ 第70回応用物理学会春季学術講演会 JASP EXPO Spring2023
開催日：2023年3月15日-18日
開催地：上智大学四谷キャンパス ハイブリッド開催
案内数：約150件

(6) 他都市・関係企業との連携活動、会議・協議会・セミナーの参加

- 4月19日 タスクフォース主催 JCCB 会員交流会
- 6月14日 日本コンベンション協会第7期社員総会(東京)
- 6月20日 2022年度 JCCB 通常総会 (東京)
- 7月21日 2022年度第1回 JCCB 産業部会 MICE セミナー
- 7月27日 JNTO 国際会議誘致・開催支援ウェビナー(WEB)
- 9月5日-7日 城西国際大学観光ビジネス講座研修
- 9月29日-30日 中部コンベンション連絡協議会 (高山市)
- 10月14日 観光庁コンベンションビューロー支援事業第1回研修会 (静岡市)
- 10月20日-21日 2022年度 JCCB 第1回コンベンションビューロー部会
- 11月22日 JCMA2022年度第1回勉強会(WEB)
- 11月24日 観光庁コンベンションビューロー支援事業第2回研修会 (静岡市)
- 12月2日 4都市コンベンションビューロー第16回連携会議 (東京)
- 12月15日 第3回タスクフォース主催 JCCB 会員交流会 (東京)
- 12月22日 アフターMICE プログラム茶の里アドベンチャー体験モニター
- 1月23日 観光庁コンベンションビューロー支援事業第3回研修会 (静岡市)

(7) コンベンション開催助成金制度検討

- ・ 新型コロナウイルス感染症予防対策助成金制度の実施
予算の都合上、実施できず
- ・ ハイブリッド会議開催支援助成金制度の検討
令和5年度運用に向けた制度設計
- ・ 浜松コンベンション開催助成金制度の要綱改訂
令和6年度以降の国際会議助成金交付額の支援強化を検討

(7) 誘致資料の作成と広報

- ・4月「全国会場 Navi2023」への掲載
- ・11月-1月 機械振興会館にて浜松 MICE・観光情報ブースを設置展示
- ・1月「日本工学会年報 第61号」支援制度の広告掲載
- ・3月「MICE PLANNERS GUIDE 2023」への掲載

2 コンベンション主催者への支援事業

(1) コンベンション開催支援の実施

① コンベンション開催助成金の交付

- ・令和4年度開催助成金の交付 申請35件 交付20件 合計6,644,000円

(内訳) 国際会議助成金 0件

宿泊助成金 19件 6,544,000円

アトラクション助成金 1件 100,000円

※中止4件、辞退5件

- ・令和5年度コンベンション開催助成金審査会の開催

8月29日 国際会議助成金 4件、アトラクション助成金 2件

3月23日 宿泊助成金 28件、アトラクション助成金 8件、国際会議助成金 1件

② 視察受入・アテンド 16件、うち事前現地視察調査等助成金交付 3件

③ コンベンション・イベントの歓迎案内掲出 31件

④ コンベンションカレンダー ウェブサイトにて公開・随時更新

⑤ コンベンション・イベントの後援 30件

⑥ その他各種支援

会場手配支援16件、土産品販売ブース2件

観光パンフレット提供18件、観光優待券提供10件

(2) コンベンション支援資料の作成と広報

- ・WEBサイト(日・英)の更新
- ・市内施設の360度写真撮影とWEB公開
- ・助成金支援案内(日・英)のデジタルデータ作成

(3) その他事業

- ・ユニークベニュー等の調査・研究開発
- ・デジタル媒体等の収集と主催者への提供
- ・スポーツイベント・大会誘致に向けた関連事業者との連携

3 コンベンション関連情報の収集・分析事業

(1) **主催者等へのコンベンション開催意向調査**

コンベンション開催意向調査

- ・6月実施 訪問件数 5団体 450件
- ・11月－12月実施 訪問件数 15団体 1,020件

(2) **事業拡大に向けた分析調査**

浜松 MICE 誘致力強化に向けた他都市比較分析調査

3月実施（日本コンベンションサービス株式会社）

(3) **国際会議統計への情報提供**

- ・2021年（暦年）国際会議・大会 0件
- ・2022年（暦年）国際会議・大会 2件
- ・2023年（暦年）国際会議・大会 5件（開催予定）

公3 公共施設管理運営事業

浜松市より受託している「浜松市観光インフォメーションセンター」において、来訪者に対し、観光、イベント、交通、飲食、宿泊等に関する各種情報を提供するとともに、市民団体(観光・通訳ボランティア)との連携による地域全体でのホスピタリティ溢れる対応により利用者の利便性の向上を図る事業を推進することで、地域社会の健全な発展に貢献することを目的とする。

1 浜松市観光インフォメーションセンターの管理運営

- ・観光、イベント、地域情報等の収集、案内
- ・パンフレット・チラシ等の収集、配置及び配布
- ・観光イベント等の最新情報の収集
- ・利用者にわかりやすい資料の作成、配布
- ・市内各観光案内所への情報提供
- ・パンフレット等の郵送請求への迅速な対応
- ・浜松市土産品協会と連携し、特産品・土産品を展示
- ・観光ボランティアコーナーの設置
浜松ボランティアガイドの会及び通訳ボランティア HELP の会と連携
- ・Wi-Fi による情報提供
- ・大河ドラマ館入場チケットの販売

	来場者数 (人)		※()は R3 実績	
	日本人		外国人	
4月	4,432	(3,917)	39	(23)
5月	5,807	(3,121)	44	(42)
6月	4,528	(3,125)	32	(10)
7月	4,539	(3,448)	51	(17)
8月	5,977	(2,122)	44	(27)
9月	4,385	(0)	52	(0)
10月	5,651	(3,082)	77	(37)
11月	5,340	(4,575)	128	(24)
12月	4,119	(4,935)	92	(23)
1月	7,075	(4,078)	140	(23)
2月	6,549	(2,525)	88	(23)
3月	8,731	(4,474)	158	(32)
合計	67,133	(15,013)	945	(281)

JNTO が認定する「外国人観光案内所」は立地・機能等により 1～3 の 3 つのカテゴリーにランク分けがされており、当観光案内所は、「カテゴリー2」(少なくとも英語で対応可能なスタッフが常駐。広域の案内を提供。)に認定されている。無料 Wi-Fi を設置し、来訪者の利便性の向上に努めるとともに、インターネットによる英語・中国語・韓国語の観光情報の発信も行う等、インバウンドの受入環境の整備にも力を入れている。

Ⅲ その他事業活動報告

他1 会員サービス事業

地域全体で観光・コンベンション等による来訪者へ満足度の高いおもてなしを実施するため、会員間における情報交換・共有を通してのスキルアップを図るとともに、当財団の活動に対する理解を得ることによる、当財団の基盤・組織力の強化を目的として、賛助会員を対象とした各種事業を行う。

1 会員への情報提供

(1) メールマガジンの配信（月1回）

- ・官公庁、ビューローからの情報提供
- ・会員から情報を募集しての各種情報提供
- ・官公庁からの補助金対象事業募集、調査やトピック当の情報提供

(2) 会員情報誌の発行（年2回）

- ・ビューローの事業報告や告知等に加え、浜松・浜名湖地域で奮闘している人や企業を特集する企画や、財団における取組の紹介、その他各種お役立ち情報を掲載する。

【Hamanako ふれす 第9号】

発行時期 8月

発行部数 1,000部

【Hamanako ふれす 第10号】

発行時期 1月

発行部数 1,000部

2 観光関係優良従業員の表彰

日程 令和5年2月8日(水)

会場 グランドホテル浜松

表彰者 7団体20名

記念品 大河ドラマ「どうする家康」関連グッズセット

3 情報交換会「賛助会員の集い（観光セミナー及び交流会）」の開催

日程 令和5年2月8日(水)

会 場 グランドホテル浜松
内 容 【第1部】観光セミナー（参加：94人）
 演題：「家康公ゆかりの地 浜松の歴史遺産」
 講師：浜松市文化財課 太田好治氏
 【第2部】交流会（参加：81人）